

様式第1号（第8条、第9条関係）

事業者行動計画書（変更計画書）

2021年 7月 28日

（宛先）

滋賀県知事



提出者

住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)

滋賀県甲賀市水口町水口6776番地

氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)

朝日アグリア株式会社 関西工場

関西工場長 金森 貢

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例  
 第20条第3項・第20条第4項  
 第22条第1項・第22条第2項において準用する  
 同条例第20条第4項の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称 および代表者の氏名)	朝日アグリア株式会社 代表取締役 村上 政徳
事業者の住所 (法人にあっては、主たる 事務所の所在地)	本店 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222番地

1 事業所の概要

事業所の名称	朝日アグリア株式会社 関西工場					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町水口6776番地					
主たる事業	細分類番号	1	6	1	2	複合肥料製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロットル以上の事業所を 県内に有する事業者  <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者  <input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A4列4番とします。

## 標準様式第1号

(第1面)

### 1 計画期間

計画期間	2021 年度	～	2023 年度
------	---------	---	---------

### 2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

#### 1. 朝日工業グループ経営理念

「誠実で、公正、公平、誰からも愛される会社であり続けます。  
良い製品、良いサービスを提供し、地球環境へ貢献し続けます。」

#### 2. 朝日工業グループ環境指針

「環境負荷軽減、地球温暖化防止、ゼロエミッションを通して、環境へ貢献します」

#### 3. 朝日アグリア株式会社 環境ISO14001環境方針

別紙1を参照下さい。

### 3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

#### 1. 朝日アグリア株式会社エネルギー管理体制

別紙2を参照下さい。

・社内規程として、省エネ法、関係条例等に準ずるためにエネルギー管理規定を制定し  
省エネルギー及び低炭素の取り組みに関わる管理体制を整備。管理体制に基づき、  
省エネルギー及び低炭素の取組み対応を、主に省エネルギー推進委員会で審議し  
取組み状況を管理する。個々の事業場、工場で各事項の対応共有を図る。

・また、省エネルギー及び低炭素の取り組みに関わる社員の環境意識の醸成を目的に  
環境に関わる社内講習会を定期的に開催。人事制度で環境に関わる通信教育の受講  
または商工会議所が主催する環境社会検定試験の合格を昇格要件にしている。

# 環境方針

環境保全の取り組みに関する環境方針を定め以下の通り公表する。

## 基本理念

- 循環社会の実現に貢献することを企業理念に据え、企業活動のあらゆる面での環境保全に配慮した活動を行う。
- 「安心で安全な商品」の提供を通じ「環境と調和する農業」の発展に供与する活動を行う。

## 基本方針

- (1)朝日アグリア株式会社開発部、関東工場、千葉工場及び関西工場(以下組織という)は主要製品である肥料・種苗の開発、生産に伴う事業活動、製品・サービスが環境に与える影響及び工場の立地条件を把握し、環境目的・目標を定め、定期的に見直すと共に、環境保全活動の継続的な向上改善をはかる。
- (2)環境関連の法規制及びその他の受入れを決めた要求事項を遵守するに止まらず、自主基準を制定し一層の環境保全に努める。
- (3)地球環境資源の保全活動を推進する為、工場の全ての組織及び従業員が活動できる環境管理組織を整備する。
- (4)組織は環境汚染の予防に努めると共に、組織が行う事業活動及び製品・サービスが環境に与える影響の中で、特に以下の項目について優先的に環境保全活動を推進する。  
①地球温暖化と資源の枯渇を防止する為に、施設の資源・エネルギー及び生産設備エネルギーの使用効率を高め省エネルギー、省資源をはかる。  
②限りある資源の有効活用のため未利用資源の循環利用及び環境負荷の少ない製品の開発製造を行う。  
③排出ガスによる大気汚染を防止する為に、輸送効率の向上、エコドライブの実践を推進し燃料CO<sub>2</sub>の削減をはかる。
- (5)環境教育、社内広報活動を実施し、従業員の環境方針の理解と環境に対する意識の向上をはかる。

私は環境保全の重要性をよく認識し、これに関する全ての責任を負う。

生産統括部長に環境マネジメントマニュアルを承認する責任と権限を、開発部、関東、千葉及び関西の各部門長には環境マネジメントシステムの管理と実行に関する責任と権限をそれぞれ付与する。

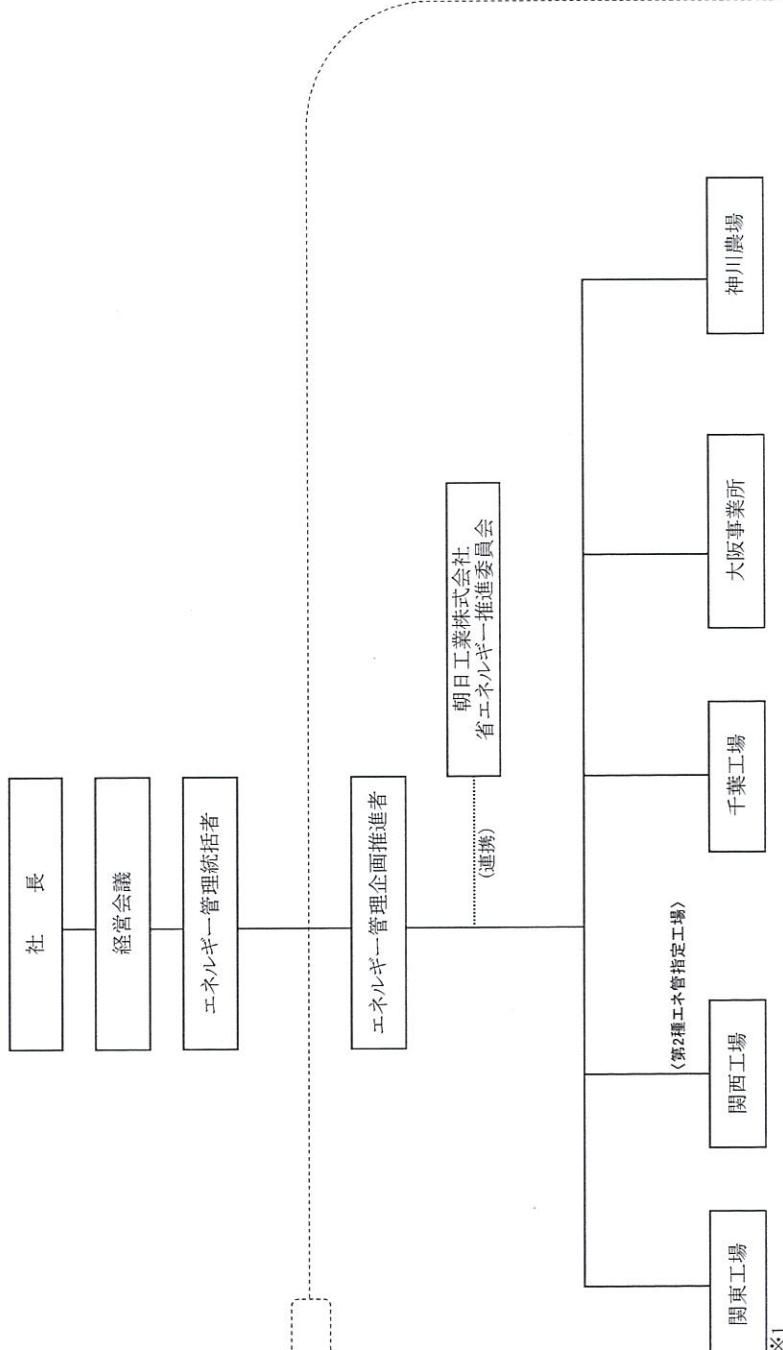
すべての従業員がこれを支持・遵守することを要求する。

この環境方針はホームページで公開する

2020年4月1日

朝日アグリア株式会社  
常務取締役  
廣瀬 清

## エネルギー管理体制



〔関東工場長〕  
〔関西工場長〕  
〔千葉工場長〕  
〔大阪事業所〕  
〔神川農場〕  
〔開発部長〕

(エネルギー管理担当者)  
(エネルギー管理担当者)  
(エネルギー管理担当者)  
(エネルギー管理担当者)  
(エネルギー管理担当者)

(エネルギー管理担当者)  
※1 法に基づくエネルギー管理及び届出は朝日工業株式会社と連動する。  
※2 営業統括部:当該事業所に在籍する者から選任する。

制定 2021年7月15日

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

1. エネルギー監視システムを導入(2010年12月設置)。生産ラインの各所のエネルギー使用量を把握し、効率改善、ムダの排除を行い、エネルギーの削減、エネルギー原単位の低減を実施。
2. 生産銘柄別の原料特性、生産性を把握管理し、生産性の向上、最適化を図り、エネルギーの削減に繋げる。
3. エネルギー管理標準書を整備し、標準書に則る運用を行い、生産効率、エネルギーの最適化を図り、エネルギーの削減に努める。
4. コンプレッサー圧力設定の見直し及びエアー漏れ箇所の修繕を行いコンプレッサー負荷の低減
5. 大容量モーター設備のインバーター化による電力量低減
6. 工場水銀灯をLED照明に取替を行い電力量低減
7. 燃料転換(再生油→LNG)を2019年1月に実施し、二酸化炭素排出量抑制に取り組む
8. 超高効率トランクへの変更による電力量低減

## 5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備投資	工場設備集約による設備稼働率向上	2021年度投資工事 2022年度実績確認
2	設備投資	工場設備集約による電力原単位改善	2021年度投資工事 2022年度実績確認
3	設備投資	工場設備集約による燃料原単位改善	2021年度投資工事 2022年度実績確認
4			
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

## (3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

- ・工場設備集約により24時間稼働となるため、設備稼働率・燃焼効率向上が見込める  
また、休止設備の待機電力低減により電力原単位改善が見込める

## ・目標設定について

2021年度より下記の計算式によりエネルギー原単位を1%以上低減を目標にし、CO<sub>2</sub>排出量の低減につなげる  
 原油換算エネルギー使用量／生産数量＝エネルギー原単位

## 6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

## (1) 取組の内容等

## 1. 未利用資源の肥料原料化、有機質肥料の生産量拡大

有機質肥料は、人の生活により廃棄される物(主に動植物有機物、人の食で不要となる廃棄残渣等)

である。

これらは、廃棄後に燃料等を使用し焼却処理がされるものである。

当社では、これらの廃棄されるものを再利用し、有機肥料原料として開発し原料として使用している。

また、既存に流通する有機質原料(油粕、魚粕等)も食の残渣や人の生活により消費残渣となった物であり、焼却廃棄を行わず利用するため、温室効果ガス排出の抑制に寄与するものと位置付ける。

## (2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

## 1. 未利用資源の有効活用による天然資源活用の拡大

2021 目標値	2022 目標値	2023 目標値
堆肥年間使用量 1,100t (前年対比+20%)	堆肥年間使用量 1,250t (前年対比+14%)	堆肥年間使用量 1,400t (前年対比+12%)

## 7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1 CO2排出量の低減	朝日工業グループの中期環境行動計画で設定 グループ全体で1990年比25%削減(1990年度電力排出係数を用いる) 〃 2013年度対比4%削減(各年度の電力排出係数を用いる)	2021年度
2 廃棄物のリサイクル	朝日工業グループの中期環境行動計画で設定 ゼロエミッションの推進:廃棄物の再資源化および有効利用化を99.5%以上	2021年度
3		
4		
5		
6		
7		
8		